



発行所 隊友会岩見沢支部
岩見沢市西川町519-25
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市栗沢町最上350-1
TEL (0126) 45-2721

いわみざわ

第18代第12施設群長兼岩見沢駐屯地司令 星川 辰雄 1等陸佐 着任



着任の辞

この度、第十二施設群長を拝命した、星川一佐である。雄大な石狩平野にのぞむ自然豊かなこの岩見沢の地において、施設科部隊としての伝統を育んできた第十二施設群の群長として勤務できることは、最高の喜びであり身の引き締まる思いである。

本日より、諸官らと行動を共にするに当たり、以下の二点を要望する。

その一つは、「挑戦」である。私の言う挑戦は、必ずしも新たなことを行うことを意味するものではない。毎日の訓練や業務を積極的に行うこと、基本基礎を確実に履行することも挑戦であると考えている。

諸官らはこれまで、第十二施設群のため、訓練や各種業務に積極的に取り組んできたものと確信している。今後も情性に流されることなく、「挑戦」を自らの意識の根底に持ち、そして、激変する情勢や環境に感わされることなく、あらゆる任務を遂行できる高い技術力を保持し、活用できる組織及び隊員たることを要望する。

二つ目は、「信頼」である。我々は任務を確実に遂行してこそ、上級及び関係部隊等から信頼を得ることができ、周囲から、また部隊内においても、それぞれのレベルで信頼が得られるような組織及び隊員となるよう努力することを要望する。

あわせて、信頼を得るのみならず、相手を信頼する心をもっていたきたい。信頼していない相手からは、信頼を得ることはできない。ぜひ、お互いが信頼しあえる関係が確立できるよう、努力してもらいたい。

以上、第十二施設群長としての着任に当たり要望を述べたところであるが、これまでの諸先輩及び諸官らの努力により培ってきた歴史と伝統を基礎に、第十二施設群が高い技術力を保持し、活用できる部隊としてさらなる成長と発展を遂げるべく、全力をもって勤務する所存である。諸官らの活躍を祈念し着任の辞とする。

新群長プロフィール

昭和37年5月1日 生 青森県出身
防大卒 (土木) 29期
工学博士
技術高級課程 (TAC) 二十五期
マレーシア指揮幕僚課程
主要部隊歴
61・3 110施設大隊小隊長
63・3 防衛大学校付 (理工学研究科)
2・3 110施設大隊副中隊長
4・3 防衛大学校助手
8・3 技術研究本部第四研究所
9・3 幹部学校学生
10・3 陸幕教育訓練部教育課
12・3 陸幕調査部付
14・6 マレーシア防衛駐在官
17・8 研究本部研究員
18・3 北方 (調) 調査課長
20・8 幹部学校教官
21・3 第十二施設群長兼岩見沢 駐屯地司令



三月三十一日第十七代第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令荒井一佐の離任式が北方方面施設隊長瀧之上 一佐立会いのもと行われた。

荒井一佐は平成十九年八月に着任し、「基本基礎の徹底確行」・「施設技術の不断の練磨」を群長要望事項に掲げ、隊員一人一人に実践させた。この間群検閲・方面戦闘力演習の際の大規模陣地構築や隊冬季戦技競技会においての総合優勝と輝かしい功績を残された。見送りで岩見沢の隊員が集まり、荒井一佐は群を共に背負ってきた副群長と堅い握手を交わされると、群第一科長伊藤一尉の発声による全隊員の万歳三唱を受け、数々の思い出と共に駐屯地をあとにし、新任地の朝霞駐屯地へと向かわれました。

荒井一佐 御栄転

第十七代第十二施設群長兼
岩見沢駐屯地司令

隊冬季戦技競技会総合優勝を飾る



荒井群長を胴上げ

平成二十年度隊冬季戦技競技会が、二月五日南恵庭駐屯地及び北大演恵庭地区で実施されました。競技は、一般走の部、部隊機動の部、リレーの部に分けて、各種目の合計タイムで争われました。○八三〇、北部方面施設隊長淵之上、佐のピストルの合図で一般走の部からスタートし、部隊機動、午後三時にリレーの部が行われました。今年度は、例年になく雪不足で当初スキー練成が出来ず、持続走・筋力トレーニング等となり、本格的なスキー訓練を開始したのは年明けからでした。しかし、群戦技教官第三二施設器材中隊相原三尉の熱意と指導のもと各中隊の監督と連携しながら転地訓練・タイムレース等を通じて、競技会本番に万全を期した。その結果、実に一六年振りとなる総合優勝を飾ることが出来ました。閉会式後、群長を胴上げし優勝の喜びを分かちました。

一般走の様子



部隊機動の様子



リレーの様子



焼肉家族

やき道楽

営業時間 17:00⇒24:00

年中無休

ラストオーダー30分前

北海道岩見沢市日の出町8-22

0126-32-0111

※本誌ご持参のお客様は、お会計から30%割引致します！

※他券との併用不可 ※宴会セットプランでのご利用不可

有効期限 H21. 7. 31迄



千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町22番地71

電話(0126)24-4567番

Gibraltar

ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。

ブルデンシャルは、130年の歴史を持つ英国最大級の金融機関であり

世界の顧客に幅広い金融商品、サービスを提供しております。

ジブラルタ生命保険株式会社

岩見沢支部

〒058-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ寺江ビル4F

TEL:0126/22-4876 FAX:0126/22-5734

隊冬季競技競技会に参加して

第三三七施設中隊 三等陸曹 梅津 敏之

二月五日、隊冬季競技競技会が行われ、今年度は、改編により第三施設団から北方面施設隊へと変わった初の競技会で私はリレーに参加し、中隊のアンカー（四番手）として走ることにしました。

競技会前は、体調・スキートの練成も問題なく順調でしたが、いざリレーがスタートして自分の番が近づくと緊張感が高まってきました。そして自分の前三番手の順になり気持ちを投入準備をしていましたが予想外にも接戦で戻ってきたので、その接戦から抜け出すことを考え勢いよくスタートしましたが、力みすぎた自分はスタート直後のコーナーで転倒してしまい、前の人たちに置いていかれてしまい、更に転倒した焦りから立ち上がることも出来なく、いつも練習で出来た滑りが出来なく納得いかない結果に終わってしまいました。競技会が終わった今でも悔しい気持ちでいっぱいです。

普段から積み重ねた練習も環境が変わると全く力を発揮できない現状を考え、常に平常心を忘れないことを今後の課題に行きたいと思えます。また来年も選手として競技会に参加することができたら今度こそ中隊のため、群のために力を発揮しようと思えます。



アンカーとして力走する梅津3曹



一般走で頑張る廣岡3曹

第三四二施設中隊

三曹 廣岡 健

平成二十年隊冬季競技競技会が二月五日に南恵庭駐屯地で実施されました。昨年に引き続き今回も自分是一般走の選手として参加し、個人的には悔いが残る結果でしたが学べるものがたくさんあった大会でした。

まず一つ目に学んだことは基礎体力の重要性です。今回の大会のための転地訓練は十二月から実施されましたが暖冬によりスキー訓練ができず駆け足や筋トレをするという状態でした。しかし、この一ヶ月でしっかりと体作りをできたことにより一月からスキーを履いた訓練をスムーズに行うことができました。

二つ目はスキー技術の重要性です。北海道に勤務して二年が過ぎましたが、まだまだ技術がなくて効率的な滑りができていません。今年もたくさんの方を教えることができましたがまだ満足いく滑りには遠いと感じました。早く技術を磨き、教えてもらえばいいのですが、早く教えることができるぐらいになりたいと思っています。

三つ目は気持ちです。競技では当たり前前のことですが、どれだけ勝つことに執着しあきらめないでやるかというのが重要なことかというのを学びました。

今回、学んだことを来年度の大会で活かせるように忘れずに一年間を大切にしていきたいと思えます。

日本生命保険相互会社
岩見沢営業部
小山 瑞代
防衛者共済組合 岩見沢支部 常駐員
谷川 英子

〒068-0004 岩見沢市四条東3-1-1
Tel. 0126-22-4813 Fax. 0126-24-0024
URL: <http://www.nissay.co.jp>

hair salon
わたがべ

自衛隊員の方優遇 | 料金2500円 | |
〒068-0851 岩見沢市大和1条7丁目3-46
渡邊 正 吾
☎ 0126-(25)-0666

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください ☎ 0126-(22)-5874

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 阪興いわみざわ
代表取締役 田宮 功三

まごころ 株式会社
TKK トッキュウ
Tokkyu

物流・・・
それは“まごころ”のネットワーク
本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9
TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053
<http://www.tokkyu-group.jp>
(札幌/札幌北/苫小牧/東北/関東/中部)

PUB
あおき

岩見沢市2条西2丁目
TEL 0126-24-8085

SNACK
北の国から

飲み放題 3000円(5名様から)
岩見沢市3条西1丁目官川ビル2F 店主 平 井
☎ 0126-(22)-8873

部隊の出来事カレンダー

- 1月
 - 26日 岩見沢ドカ雪祭り支援（2月15日まで）
 - 28日 隊物品管理検査（30日まで）
- 2月
 - 5日 隊・群冬季戦技競技会
 - 5日 第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊
隊冬季戦技競技会
 - 12日 #3群野営（～14日）
 - 25日 第335施設中隊冬季検閲（～27日）
 - 26日 第101施設直接支援大隊後方支援効率化
施策訓練（第2直接支援中隊担任）
- 3月
 - 2日 群スキー検定（～4日）
 - 5日 幹部積雪地訓練（～6日）
 - 16日 #2スキー記録会
 - 17日 群ラッパ競技会
 - 17日 #3銃剣道対抗試合
 - 17日 群隊計2次示達
 - 19日 転出行事・除隊式・表彰式
 - 19日 群隊計2次示達
 - 20日 群幹部任官行事
 - 23日 定期異動
 - 27日 群持続走記録会



幹部積雪地訓練（ニセコ）



隊・群冬季戦技競技会（南恵庭）



#3群野営（北大演）



第335施設中冬季検閲（孫別）



岩見沢ドカ雪祭り支援

部隊だより

「平成二十年度・後方支援効率化施策訓練を実施」

一〇一施設直接支援大隊は、平成二十年度最後の後方支援隊効率化施策訓練を、二月二十六日岩見沢駐屯地において担任実施した。後支隊長始め、各GS・DS部隊長ほか多くの部隊研修者に対し、施設部隊のPRや施設DSの効率化施策への熱い取り組みと、多くの隊員が真摯に取り組んでいる装備改善提案について、各中隊のプレゼン発表・実習・訓練展示等を実施した。



渡河ボートのFRP補修要領を発表する練原3曹



後支隊長と記念撮影

「慣れない事から学ぶ」

第二直接支援中隊

三等陸曹

漆原 雅敏

二月二十六日、後方支援隊効率化施策訓練において、後支隊長を前に「FRPの現場における補修要領」について発表をしました。その際に感じたことは、「日々の積み重ねは大仕事・一人に教えるのは難しい」の二点です。当日までに原稿を書き、練習シメトレもしましたが、発表直前になると緊張してきました。その時に、今までに叩き込まれた整備屋魂と整備技術が自身となり開き直ることが出来ました。発表も何とか終了し、恒常業務の大事さを痛感しました。しかし、後になって思い返すと原稿の八割も話せていなかった事に気がきました。また時間制約もあり駆け足での説明でしたので、おそらく三割も伝わっていないと思います。人に教える難しさを改めて感じました。

今回の訓練で、貴重な経験をすることが出来ました。この経験を糧に整備屋として心技体の向上に勤め、任務達成の一助となるよう努力行きたいと思えます。

いわみざわ
ドカ雪祭り支援



下カ雪祭り支援に参加して
第三三六施設中隊
二等陸曹 佐藤 榮徳

私は、平成二十一年二月十四日、十五日に岩見沢市内で行われたドカ雪祭りの支援に参加しました。支援の内容としては、約三週間でメインステージを作成するという内容です。今年は暖冬の影響で、本来現地に集めることが始まり、基礎に必要となる雪を集めるには約五日かかりました。しかし、苦勞して集めた雪は真っ白にはほど遠く、質の良いものではありませんでした。何とか雪も集めることができ作業していくことになりましたが、作業していく上で上官の要望としては、「水平直角・左右均等」を追求していくことを要望されました。

隊員だより



第三二四基地通信中隊岩見沢派遣隊
二等陸曹 升田 嗣仁

私は、平成十七年の三月から、岩見沢派遣隊信務電信班に勤務し、勤務五年目となります。ちなみに、基地通信とか信務電信と言っても、具体的にどの様な職務なのか、知らない方が多いと思います。

基地通信は、駐屯地内の通信に関わる事、具体的には駐屯地にかかってくる電話の交換業務や、各駐屯地間の伝送路の保守、文書等の電送、無線電信などを担当しており、信務電信はその中の後者である公文書等の電送、無線通信を担当している部署です。また、部隊として小規模であり、課外における通信の維持・管理として不定期に夜勤業務を行うため、土・日の休日にも仕事をすることがありますが、下番と言う形で平日に休みを取れるので、少人数ながらも何とか休める状況ではあります。

全般的を通して大変だったことは、化粧雪を使い全体を白くすることでした。元々汚れた雪の上に気温が高い日が多く化粧雪を貼っては溶けての繰り返しで、全体的に白くするのはとても大変でした。色々ありましたが、期間までには完成させることができましたので本当に良かったと思います。残念なのが、引き渡す前日に季節外れの雨のせい、夜間作業で仕上げたステージが凸凹になってしまったことです。我々も自然には助けてもらいました。大変なことのある支援ではありましたが、やりがいもある支援で、市民の皆さんに喜んでもらえ、来年も雪祭り支援に参加したいと思えます。

衛生だより

衛生科長 鈴木一尉

「予防衛生」について
皆さんは、「新型インフルエンザ」という言葉を聞いたことがありませんか？毎年流行するインフルエンザと違い、今までに世界中の誰も「新型インフルエンザ」には罹ったことがありません。本来鳥の間だけで感染しているインフルエンザが、偶発的に鳥から人に感染を繰り返しているうちに、人から人へと爆発的に感染するヒト型ウイルスに異変したものです。もしもこの「新型インフルエンザ」が世界的に大流行（パンデミック）した場合、国内では最大六十四万人が死亡すると厚生労働省では試算しています。現在「タミフル」という通常のインフルエンザ治療薬と現在の鳥インフルエンザから作られたワクチンを備蓄していますが、国民すべてにいきわたる量ではありません。また、「新型インフルエンザ」の感染者が発生してから六ヶ月たないと本格的なワクチンが作れません。そのため国内での流行が始まったら、なるべく必要以外は外出せず、特に人の集まる場所へは行かない、手洗い・うがいは欠かせないなどの予防策と最低二週間の食料・飲料水・日用品の備蓄をするよう厚生労働省は進めています。また、日頃から通常のインフルエンザの予防策を習慣づけておくと身に付けておくことも大切です。外出から帰った後には必ず手洗い・うがいをする、咳をしたらティッシュで拭き、部屋の湿度を五十パーセントから六十パーセントに保つ、疲れたときは栄養と睡眠をたっぷりとる、人混みを避けるなどです。正しい知識を持ち、普段から予防法を身につけることで、いざという時にパニックにならない「知識のワクチン」が最も大切です。



平成二十年度
「隊友の集い」開催

春近しを思わせる雪解けの進む中、隊友会岩見沢支部「隊友の集い」が平成二十一年三月二十二日（日）「北村温泉ホテル」で行われました。日頃は、何かと違う事も少ないですが、久しぶりに隊友が集まり、この日は温泉を楽しんだり、囲碁・将棋に夢中になって勝利を楽しみました。夜は、小笠原会長の挨拶、乾杯で懇親会に移り、近況の話に花が咲いて時の経つのを忘れるくらいでした。最後に参加者三十四名で記念写真を撮りまた違うことを約束して宴会のうちに閉会しました。



乾杯の様子



懇親会の様子

パラダイスで結婚式を挙げませんか!!
お二人の想い、平安樂が叶えます。
IWAMIZAWA
HEIANKAKU
札幌市東区北一条西1丁目 TEL. 011-823-600
http://www.1-heiankaku@mbn.or.jp

いのわみざわ
ひと、いえ、くるま。JA共済には、暮らしの保障のすべてが揃っています
JA共済は、相互扶助「助け合い」を理念とした協同組合保険。
営利を目的としないので、納得のいく資金で大きな保障が得られます。
岩見沢市2条西1丁目1番地
TEL 0126-25-2211

心をこめて、これからも
AIG
AIGエジソン生命
お気軽にご相談ください。
AIGエジソン生命保険株式会社
業務隊厚生科内
常駐社員：田村純子(内線338)

